



大久保小だより



学校教育目標 **カいっぱい かしくく やさしく たくましく**
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

令和元年7月1日第4号
さいたま市立大久保小学校
さいたま市桜区五関21
048(854)7636
男子134名女子100名計234名

応援される人、喜んでもらえる人に

校長 金子 要一

6月11日、6年生は**桜区バスケットボール大会**に出場しました。6年生にとっては、学校を代表して出場する初めての大会です。その大会で、**本校はブロック優勝に輝きました**。昨年度のサッカー中央大会第3位に続く快挙です。この大会の記録で学校に残っている最も古いものは、平成27年度のブロック第2位です。ということは、少なくとも5年以上、或いは初めての成績かも知れません。

当日、6年生は、お揃いの**緑色のユニフォーム**に身を包み、試合開始から終了まで全力でボールを追いました。また、応援の声も途切れることはありませんでした。今回は、6年1組が校内予選を勝ち抜いて桜区の大会に出場しましたが、予選の後も2組は毎日練習に付き合ってくれました。声援だけでなく、練習相手として1組を応援してくれました。今回の成績は2組がいなかったら得られなかったでしょう。そういう意味では、今回の**ブロック優勝**は、大久保小の**6年生全員でつかみ取ったもの**だとも言えます。

そして、試合に先立って、全校児童による「**壮行会**」が行われました。1年生から5年生が、試合に臨む6年生の選手にエールを送ってくれました。6年生は、その**応援を力に変えて優勝**することができたのでしょ

う。私は常々、子どもたちに、「**応援される人になりなさい**」と話しています。私は、大久保小学校に来る前は、中学校の教員でした。そして、野球部の顧問もしていました。野球部員に**打撃練習や守備練習**をさせるだけでなく、「**みんなから応援してもらえる人になりなさい**。そして、そういう部員が集まった野球部にしよう。」と言ってきました。

「**野球だけが上手な人ではいけない**。学校の決まりを守らなかつたり、授業中にわざと迷惑をかけたり、意地悪なことを言ったりやったりする人は、友だちからも、先生方からも、地域の方々からも**応援してもらえない**。たとえ試合に勝っても『いつもみんなに迷惑をかける□□君がいる野球部が勝っても全然うれしくない。』と思われるようではだめだ。反対に『誰にでも親切で、みんなのために嫌な仕事も買って出してくれる○○君がいる野球部を応援しよう。』と言われる人、**勝った時は喜んでもらえる人**、そういう部員が集まった野球部にしよう」と言ってきました。

これは、スポーツに限ったことではありません。コンクールや展覧会でいい成績を収め、朝会などで表彰される時も、同じことが言えます。挨拶しても返してくれない人、他人の悪口を言う人、友だちに迷惑をかける人を心から応援したいとは思えないでしょう。

私は、大久保小学校の子どもたちには、友だちはもちろん、保護者や地域のみなさんから**応援される子ども**、そして、良い成績を収めたら**喜んでもらえる子ども**になって欲しいと、心から思っています。



表彰式での松本開琉さん（中央）と佐藤由那椰さん（右）



壮行会で全校児童に応援される6年生の選手